

コミュニティバスの運行を求める陳情

青梅市は高齢化が進み、自家用車の運転をやめる市民が増加しています。また、維持費用や環境への配慮から、年代を問わず自動車を保有していない市民がいます。このような市民にとって、公共交通機関は買い物や通院、公的な手続き、さらには地域コミュニティへの参加などのために、かかすことができません。

ところが、青梅市では主要な道路や市街地においても、公共交通機関がない場所が多くあります。近年、電車やバスなどの基幹交通の補助的な交通手段が着目され、青梅市においても小型の電動車（グリーンスローモビリティ）導入の検討などが行われているとのことですが、このような対策を有効に実施するためにも、基幹交通の要となるバス路線及び便数の充実が必要です。

青梅市は、2004年にコミュニティバスの運行について、主に財政的な理由により断念したという経緯がありますが、コミュニティバスの運行を求める市民の声はさらに高まっています。青梅市が住み続けられるまちとして発展するように、以下の点について、関係機関に強く要請されるよう陳情します。

- 一、市としてコミュニティバスを運行してください。
- 一、コミュニティバス運行に対する国・都の支援の充実を求めてください。

以上

上記のとおり陳情いたします。

令和6年2月 9 日

陳情者住所

氏名

電話

携帯

青梅市議会議長 島崎 実 殿

